

株式会社 青戸金属

へら絞り、溶接、レーザー、
曲げ加工まで一貫対応納期
相談
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイン
ジャン
試作可
小ロット

へら絞り(手絞り) 作業

主な事業内容

へら絞り・レーザー・タレバン・
板金・溶接など金属加工

主な取引先(納入先)

照明機器、環境機器、医薬品機器、
食品機器、建設機器のメーカーなど

主な製品

照明機器、環境機器、医療機器、
食品機器、建設機器などの部品業務
内容
顧客ニーズに寄り添い
用途開拓

青戸金属は、へら絞り加工を軸とした金属製品の製造・加工を手がけている。へら絞り加工は、金属板を回転させながらへら棒で金型に押しつけて半球状や円柱状などに塑性変形する。プレス加工と比べて金型が少なく済むため、イニシャルコストを削減でき、多品種小ロット生産に適している。

創業当初は、照明の傘など照明器具が主製品だったが、バブル崩壊を契機に用途開拓を進めた。顧客ニーズに応じて開発していった結果、飲食店の集塵機から食品、医薬品工場で使用する粉体用ホッパー、洗面台やキャンペーン用のカップまで、多種多様な業界から受注生産の幅が広がっている。

強み
加工工程を内製化
コスト安で試作可能

絞り加工だけでなく、その前後の加工も加工機を設け、内製化しているのが強みだ。例えば、照明器具の傘は電線が入るための天穴が必要なため、絞りの加工の後、穴開け加工を行う。一般的に穴開け加工にはプレス加工が採用されているが、同社ではレーザー加工機を

導入し、対応している。レーザー加工は金型が不要で、穴径も調整しやすいといったメリットがある。

また、関連会社のアオト鋳金(大阪府東大阪市)では、溶接、曲げ加工、プレス加工を請け負っている。自社と関係会社でほとんどの工程を一貫してできるため、顧客も一度の外注で済む。コスト安で試作依頼しやすいのが魅力の一つだ。

挑戦
職人の技を数値化
品質の安定化を図る

へら絞りは加工対象物(ワーク)である金属板の肉厚がロットごとに微妙に変化し、肉厚が均等ではないため破断などが起こる。厚さを均等にするために要所ごとの力加減の調整が難しく、10年以上の経験がないと一人前とはいえないという。そのため、細やかな調整は熟練作業者の腕の見せ所。しかし、大量生産や品質の安定化には人の手では限りがある。

そこで、最近ではNC(数値制御)加工機を導入した。NC制御で同社技術の手絞り加工を集積した加工を可能とし、金属破断など不良品の低減を実現。NCプログラムで安定した生産性を維持し、標準化、品質向上、短納期を図り、高付加価値化と競争力強化を実現する。

代表あいさつ

取締役
青戸 友和さん

初めて絞り加工を知るお客様の検討材料として、自社の看板となるホームページが重要と感じ、ホームページを刷新しました。試作、小ロット生産をプレス加工で対応している企業をターゲットに、絞り加工をご依頼いただくことで、コスト削減に貢献できたらと考えています。

主な保有設備

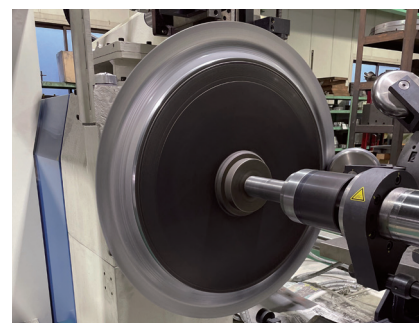
- 数値制御スピニング加工機
φ100-1,300×L500mm
日本スピンドル製造製 1台
- ティーチング式スピニング加工機
φ20-1,000×L350mm
カトウテクノ製 4台
- 2次元レーザー加工機
2,540×1,270×12mm
アマダ製 1台

大阪
03

住 所 / 〒581-0815
八尾市
宮町6-2-12
T E L / 072-923-8535
F A X / 072-923-8537
創 業 / 昭和30年4月
設 立 / 昭和55年7月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 7名



レーザー加工の様子



へら絞り(NCスピニング機)作業


<https://www.aoto-kinzoku.co.jp/>